



東京園芸ニュース (28年度-59号)

平成28年11月 / 群馬県東京園芸情報センター

35都道府県から約50店の出店！ 第55回農林水産祭「実りのフェスティバル」

第55回農林水産祭「実りのフェスティバル」

- 日時：11月11日(金)～12日(土)
- 会場：サンシャインシティ ワールドインポートマートビル 4階(展示ホールA)
- 主催：農林水産省、公益財団法人 日本農林漁業振興会
- 内容：天皇杯等三賞受賞者のパネル展示、都道府県技術・経営普及のパネル展示、郷土特産農林水産物の試食や展示即売等

内閣総理大臣賞の八高範夫さん、圭子さん夫妻を紹介！

農林水産祭「実りのフェスティバル」は、農林水産業と食に対する理解の増進と農林水産物の消費拡大等を目的に、昭和37年から開催されています。

フェスティバルでは、今年度の天皇杯等三賞受賞者のパネル展示も行われ、本県から蚕糸・地域特産部門で内閣総理大臣賞を受賞することが決まった、渋川市の八高範夫さん、圭子さん夫妻(こんにやく経営)のパネルが展示され、来場者へ紹介されました。

群馬県ブース大好評！

農林水産団体コーナーでは35都道府県から約50店が特産物の展示即売や試食を行っています。群馬県ブースでは「上州ひもかわうどんのおっ切り込みご膳」、「漬け物」、「はちみつ」、「食肉加工品(ハム等)」、「こんにやく」を、農村開発企画委員会ブースでは沼田市多那地区と老神地区の農産物(キャベツ、ダイコン等)や特産加工品(おやき、赤飯等)の販売が行われ、多くの来場者で賑わっていました。

技術・経営普及展示コーナーでは18道府県から出展があり、愛知県ではスマホで利用できる環境モニタリングシステム「あぐりログ」の開発、岩手県では小ぶりでさっぱり味の「スナックキュウリ」やイボや溝がない「スムーズキュウリ」等の特徴ある技術や農林水産物についてパネルや実物での紹介がされていました。

また、農林水産省の政策特別展示のほか、会場の外ではポニーの乗馬体験やうさぎとのふれあいコーナーなども行われ、来場者が農林水産業と触れ合う機会を設けていました。



内閣総理大臣賞の八高夫妻の紹介パネル



群馬県ブースの様子



沼田市多那地区と老神地区の様子



岩手県：「スナックキュウリ」の展示